

平成29年度青森県普通会計決算のポイント

1 決算規模

- 歳入 6,921億2,927万円 (前年度 6,942億1,764万3千円、前年度比△0.3%)
- 歳出 6,709億2,422万1千円 (前年度 6,740億9,335万9千円、前年度比△0.5%)

財政健全化努力を継続しつつ、人口減少の克服など本県の重要課題に取り組むとともに、国の補正予算にも呼応し、各種施策を積極果敢に展開した一方で、人件費の減のほか、当然減となる貸付金の減等があり、歳入歳出ともに決算額は前年度を下回った。

2 決算収支の状況

- 実質収支 23億3,584万7千円 (前年度 23億9,718万2千円)
- 単年度収支 △6,133万5千円 (前年度 2億 208万8千円)
- 実質単年度収支 △5,403万5千円 (前年度 2億1,079万9千円)

3 財政指標等の状況

(単位: %、億円)

〈決算統計関連指標〉	29年度	28年度	増減
経常収支比率	96.3	95.9	0.4

〈健全化判断比率〉	29年度	28年度	増減	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	—	3.75	5.0
連結実質赤字比率	—	—	—	8.75	15.0
実質公債費比率	13.4	13.6	△0.2	25.0	35.0
将来負担比率	127.3	133.3	△6.0	400.0	—

〈資金不足比率〉

工業用水道事業、病院事業、下水道事業、港湾整備事業のいずれの会計も資金不足は生じておらず、経営健全化基準に該当しない。

〈基金残高〉	29年度	28年度	増減
財政調整基金	141	130	11
県債管理基金	187	187	0
その他特定目的基金	595	560	35
合計	923	877	46
※(国体基金除き合計)	843	877	△34

※国民体育大会開催等に備えた青森県国民体育大会開催基金(80億円)の臨時的な造成分を除けば基金残高全体では減。

〈地方債残高〉	29年度	28年度	増減
普通会計	11,524	11,986	△462
一般会計	11,331	11,752	△421